

東北地方 1か月予報

(5月24日から6月23日までの天候見通し)

平成15年5月23日
仙台管区気象台発表

<予想される向こう1か月の天候>

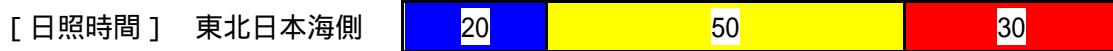
向こう1か月の可能性の大きな天候は以下のとおりです。

天気は概ね周期的に変わりますが、期間の後半を中心に前線やオホーツク海高気圧の影響でぐずつく時期があるでしょう。

向こう1か月の気温は平年並、降水量は平年並、日照時間は平年並でしょう。

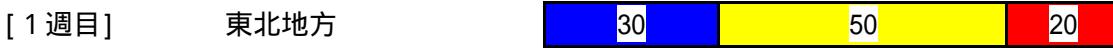
週別の気温は、1週目は平年並、2週目は平年並、3~4週目は平年並の見込みです。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



 低い(少ない)  平年並  高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>



 低い  平年並  高い

<予報の対象期間>

1か月 : 5月24日(土) ~ 6月23日(月)

1週目 : 5月24日(土) ~ 5月30日(金)

2週目 : 5月31日(土) ~ 6月6日(金)

3~4週目 : 6月7日(土) ~ 6月20日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報:毎週金曜日 14時30分 次回は5月30日

3か月予報:6月25日(水) 14時00分

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1) 30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気温()	降水量(mm)	日照時間(時間)	気温()		
				1週目	2週目	3~4週目
大船渡	16.5	159.2	174.1	15.1	16.0	17.2
新庄	17.8	110.6	174.6	16.0	17.3	18.6
若松	19.0	89.4	183.5	17.2	18.5	19.8
深浦	16.2	106.3	197.0	14.5	15.7	17.0
青森	16.1	80.4	199.5	14.6	15.7	16.8
むつ	14.8	104.9	185.6	13.5	14.4	15.5
八戸	15.5	94.1	190.3	14.3	15.1	16.0
秋田	17.8	117.7	196.7	15.8	17.3	18.7
盛岡	17.3	106.7	173.7	15.5	16.8	18.1
宮古	15.4	105.1	164.3	14.2	15.0	15.9
酒田	18.4	111.5	198.1	16.5	17.9	19.2
山形	18.8	84.2	181.6	17.1	18.4	19.5
仙台	17.6	115.1	159.5	16.3	17.3	18.2
石巻	16.9	95.2	173.7	15.4	16.5	17.5
福島	19.3	93.5	161.3	18.0	19.0	19.9
白河	17.7	144.3	152.1	16.3	17.4	18.3
小名浜	17.6	131.8	166.8	16.3	17.2	18.2

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

(2) 1971~2000年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.5~+0.3	84~110	92~108
東北日本海側	-0.5~+0.2	79~115	96~107
東北太平洋側	-0.5~+0.4	82~109	89~110

(3) この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1週目	2週目	3~4週目
東北地方	-0.6~+0.6	-0.6~+0.6	-0.5~+0.4
東北日本海側	-0.7~+0.7	-0.6~+0.5	-0.6~+0.3
東北太平洋側	-0.7~+0.7	-0.7~+0.7	-0.6~+0.5

<参考資料(利用上の注意)>

(1) 気温・降水量等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1971~2000年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるよう決めてあります(気候的出現率と呼びます)。

(2) 確率は、予報した階級が実際に起こる割合(出現率)を表しています。たとえば、確率60%の予報10例では、そのうちの6回で予報した階級が実際に起こり、4回で起こらないことが想定されます。また、統計的に有意性の高い予測資料が得られた場合には気候的出現率(各階級ともに33%)から大きく隔たった確率(10%や60%、70%など)を付けられますが、有意性が低い場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。

(3) 晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成15年5月23日 仙台管区気象台

1. 可能性の大きな天候の特徴

向こう1か月(5月24日~6月23日) :

天気は概ね周期的に変わりますが、期間の後半を中心に前線やオホーツク海高気圧の影響でぐずつく時期があるでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

1週目(5月24日~5月30日) :

期間中頃まで高気圧に覆われ概ね晴れますが、期間の終わりは気圧の谷の影響で天気のくずれる所があるでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

2週目(5月31日~6月6日) :

天気は概ね周期的に変わりますが、前線やオホーツク海高気圧の影響で一時ぐずつくでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

3~4週目(6月7日~6月20日) :

天気は概ね周期的に変わりますが、前線やオホーツク海高気圧の影響でぐずつく時期があるでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

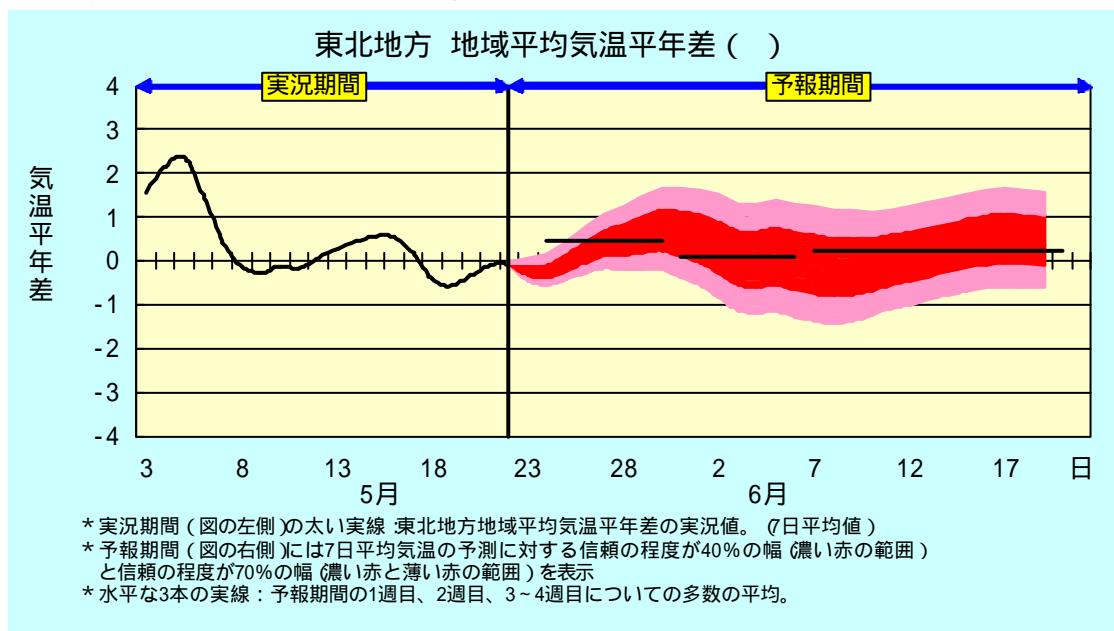
平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3~4週目
東北日本海側	15.3日	4.4日	4.1日	6.8日
東北太平洋側	13.7日	4.1日	3.8日	5.8日

2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目、2週目、3~4週目共に「平年並」と予測している。予報は、数値予報どおりとする。

なお、数値予報の信頼度は小さい。

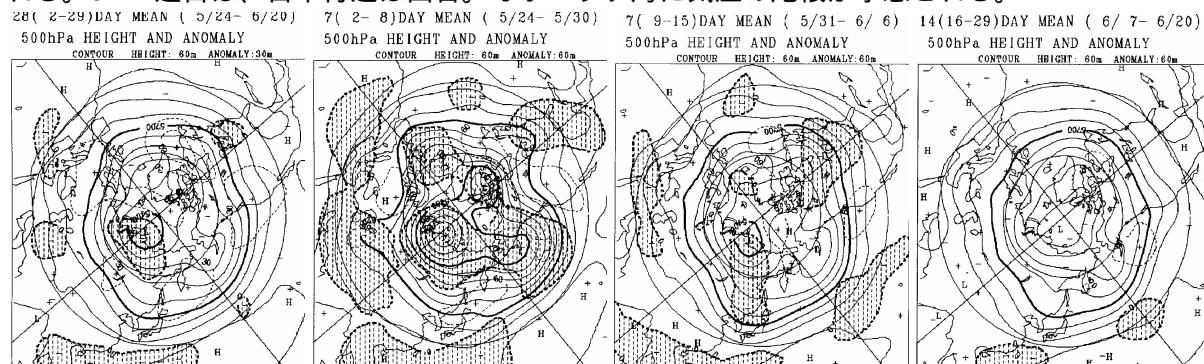


3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

500hPa 高度と偏差：

月平均では、極東域は広く正偏差に覆われる。カムチャツカ半島付近に正偏差の中心があつて、北海道にかかる。日本の南海上は負偏差となる。

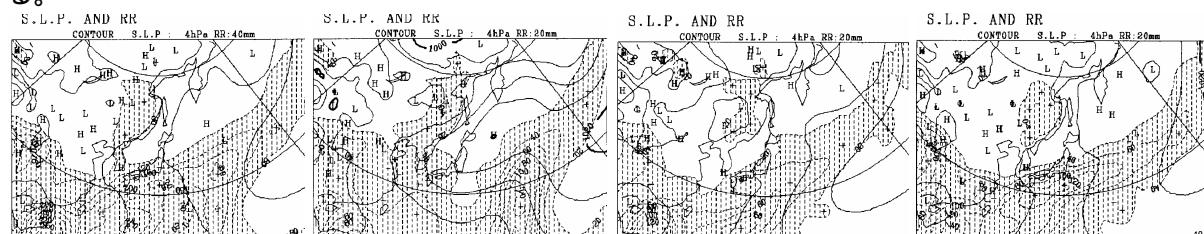
週別に見ると、1週目、千島近海に中心を持つ正偏差が北日本にかかる。2週目は、日本付近が気圧の谷となり、北日本以北が負偏差となる。カムチャツカ半島付近には、気圧の尾根が予想される。3~4週目は、日本付近は西谷。オホーツク海に気圧の尾根が予想される。



地上気圧と降水量：

月平均では、日本の南岸は低圧部となり、まとまった降水域が予想される。

週別に見ると、1週目は日本の東海上の高気圧が北日本を覆う。2週目は、日本の南岸に前線に対応する低圧部が予想される。3~4週目は、日本の南岸に前線に対応する低圧部が予想され、まとまった降水域が東日本以西の太平洋側にかかる。カムチャツカ半島付近には高気圧が予想される。

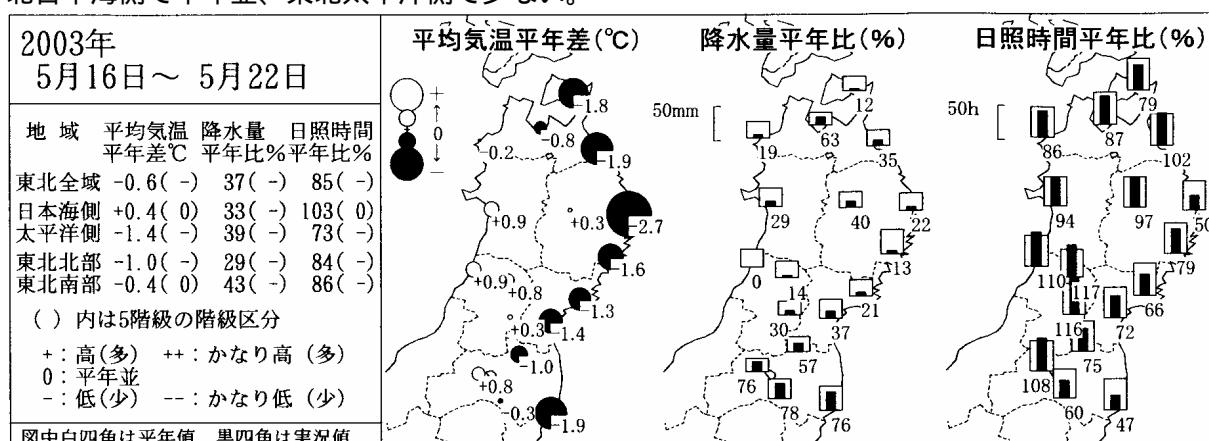


4. 最近1週間（5月16日～5月22日）の天候の経過

16日に三陸沖を北東進した低気圧の影響で雨となった他は、中心が北に偏った高気圧に覆われる日が多くかった。このため、東北日本海側では概ね晴れたが、東北太平洋側では、湿った東よりの風の影響で曇りの日が多くかった。

なお、20日は上空に寒気が入り、大気の状態が不安定となって東北南部では雷雨となる所があった。

平均気温は、東北日本海側で平年並、東北太平洋側で低い。降水量は少ない。日照時間は、東北日本海側で平年並、東北太平洋側で少ない。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)